

開倫 5 S 学校の挑戦

— 第 2 回世界 5S サミットで考える —

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：開倫塾では 5 S 活動が盛んなようですね。

A：(林明夫：以下省略)はい。開倫塾の創業の地でもあり、本部のある栃木県足利市は働く人々の自主性を尊重した楽しくやる 5S 活動がさかんです。足利商工会議所の中に「足利 5S 学校」をつくり製造業だけではなく、おそば屋さんやスポーツ用品店をはじめとするサービス産業、市役所や学校、福祉施設など様々な業種が街を挙げて 5S に取り組んでいます。国内外からの視察も毎週のようにありますので、経済産業省のアドバイスで 2012 年に第 1 回、本年 11 月 6・7 日に第 2 回の世界 5S サミットを開催。第 2 回も 19 か国からの代表も含め 300 名以上の参加で盛り上がりました。

Q：開倫塾では「開倫 5 S 学校」を昨年キックオフしたそうですね。

A：はい。「足利 5S 学校」の御指導で「5S インストラクター」を毎年育成すると同時に、開倫塾の 62 校舎すべて社員の自主性を尊重した「開倫 5S 学校」を昨年秋にキックオフしました。塾生、特に受験生にも 5S 活動を奨励しています。

Q：どのような内容ですか。

A：例えば、「受験生こそ 5S を身に着けよう、整理・清掃・整頓・清潔・躰は人生の宝物」というテーマで毎月 1 回発行の開倫塾ニュースNo. 311、2014 年 12 月号巻頭言で私は塾長として次のように 5S を奨励しています。

Q：「5 S」とは何ですか。

A：(林明夫：以下省略)「5S」とは

(1)「整理」(seiri)、^{せいり}「清掃」(seisou)、^{せいとん}「整頓」(seiton)、^{せいけつ}「清潔」(seiketu)、^{しつけ}「躰」(shituke)の 5 つのことです。

(2)ローマ字で表記すると、すべて S で始まるので「5 つの S」、「5S(ごえす)」といいます。

Q：一つ一つの「S」の意味は何ですか。

A：(1)「整理(seiri)」とは「不要なものを捨てよう」ということです。

(2)「清掃(seisou)」とは「常にきれいにしよう」ということです。

(3)「整頓(seiton)」とは「すぐに取り出せるようにしよう」ということです。

(4)「清潔(seiketu)」とは「整理、清掃、整頓の 3S を維持しよう」ということです。

(5)「躰(shituke)」とは「決められたことをきちんと守ることを心掛けよう」、「自分から進んで自主的に整理、清掃、整頓、清潔を行おう」ということです。

Q：なぜ「受験生こそ5Sを身に着けよう」なのですか。

A：(1)「5S」はもともと企業の成長と地域の発展は人づくりからという考えで、日本国内の多くの企業や地域で「5S」の活動がさかんに行われています。最近ではアジアや欧米だけでなくアフリカを含む世界中で「5S」活動が行われ、企業や地域の発展に役に立っています。

(2)この「5S」の活動は、学校を卒業して社会に出たあとに仕事や社会的活動をするときだけでなく、学校や家族での生活にも役に立ちます。

(3)特に受験生は、受験当日が近づけば近づくほどやるべきことが多くなりますので、この「5S」が役に立ちます。そこで、「受験生こそ5Sを身に着けよう」と強く訴えたいと。

(4)開倫塾では、学校時代から「5S」に親しんでもらいたい、特に多忙を極める受験生は「5S」を活用して受験生活を進めてもらいたいと願い、昨年10月よりすべての校舎で「開倫5S学校」をスタートしました。塾生の皆様は開倫塾に在籍している間に少しでも「5S」を身に着け、充実した学校生活、受験生活を送ってください。

(5)一度身に着けた「5S」は高校や大学、大学院に進学してからも、また、社会に出て仕事や社会的活動をするときにも役に立ちます。充実した人生を送る上で必ず役に立ちます。ですから、開倫塾でしっかりと「5S」を身に着けていただきたいと希望します。

Q：具体的には何をどうすればよいのですか。

A：「整理」とは、不要なものを捨てようということです。

- (1)1日に1回、カバンやバッグ、筆入れの中の要らなくなったものを捨てる。ここから「整理」をスタートしましょう。
 - (2)学校の机の中やロッカーの中からも不要なものを捨てる。
 - (3)家の自分用の机の上や机の中、本棚などにある不要なものも捨てる。
 - (4)家の自分用の物入れの中にある不要なものも捨てる。
 - (5)自分が使っている部屋の中にある自分の持ち物の中の不要なものも捨てる。
- *ゴミなどは自分の判断でどんどん捨ててOKですが、捨ててよいものかどうかは学校の先生や保護者の方とよく相談してくださいね。

Q：捨てるものは結構あるのですね。不要なものを捨てたあとはどうしたらよいのですか。

A：(1)よい質問ですね。「整理」のあとに行うのが「清掃」、つまり常にきれいにしようです。

(2)カバンやバッグ、筆入れ、机、本棚、ロッカー、物入れの中を「整理」して不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を必ず行う。

(3)「整理」で不要なものを捨てたあとは、常にきれいにする「清掃」を行う。心の中まできれいになります。

Q：「整理」し、「清掃」したあとはどうしたらよいのですか。

A：(1)これもよい質問ですね。「整頓」してすぐに取り出せるようにしよう、これが答えです。
(2)カバンの中やバッグの中、筆入れの中、机の上、机の中、本棚の中、ロッカーの中、自分の物入れの中のもの、すぐにパツ、パツと取り出せるようにしましょう。一つ一つのことをどこにどのように置くか、位置をよく考える。ものは同じところに置くこと。
(3)使ったものは必ず元の位置に戻すことも「整頓」に入ります。
(4)鉛筆やボールペンなどは必ず使い切ってくださいね。使い切る前に 1 本だけ補充すること。
(5)この「整頓」が身に着いてくると、ものを探す時間が極端に少なくなりますから、勉強や、そのときにやるべきことに集中できます。余計なものを買わなくなりますから、節約ができ、お金もたまりますよ。

Q：4つ目の「清潔」とは何ですか。

A：(1)「整理」「清掃」「整頓」の「3S」を維持しようということです。
(2)大切なのは「3S」をやり通す、絶対に中止しない、止めないことです。「継続は力」です。「3S」をやり通せば勉強や仕事の効率がどんどん上がり、成績もどんどん向上します。
(3)カバンの中や机の上、机の中、部屋の中がスカッとして、気持ちよく過ごせます。これが「清潔」です。

Q：5つ目の「躰」とは何ですか。

A：(1)「躰」とは、決められたことをきちんと守ることを心掛けようということです。みんなが決めたことはみんなで守ること、ルールの中でプレイをすること、卑しい行動はしないことが大切です。
(2)自分から進んで自主的に「5S」に取り組もうということです。いやいや、無理矢理では「5S」は長続きしません。自分の意志で、自分のためにみんなのために「5S」を行いましょよう。

Q：塾生・予備校・私立学校の経営幹部の先生方にお伝えしたいことがあります。

A：足利市では、このように小学校・中学校・高校・大学で 5S 活動が極めてさかんでいます。5S で学校中がピカピカになりますので、是非、挑戦を。

Q：最後に一言どうぞ。

A：5S を考える場合、改善活動は避けて通れません。その基本となるのが、デミング博士の生産性向上の取り組みです。W.Edwards Deming 著「The New Economics — For Industry, Government, Education」MIT press,1997 年刊を是非、御一読ください。デミング先生は「教育機関」も対象としています。